

2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社キャリア 上場取引所 東  
 コード番号 6198 URL <https://www.careergift.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 川嶋 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 辻村 淳 (TEL) 03-6453-2717  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績 (2022年10月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	4,895	41.9	256	363.2	265	342.9	182	684.7
2022年9月期第1四半期	3,450	14.8	55	—	59	—	23	—

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 186百万円 (463.4%) 2022年9月期第1四半期 33百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	21.49	21.49
2022年9月期第1四半期	2.74	2.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	5,415	1,816	31.1
2022年9月期	4,925	1,644	30.5

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 1,682百万円 2022年9月期 1,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	18,000	10.2	300	△15.8	300	△18.0	150	△23.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期1Q	8,624,320株	2022年9月期	8,624,320株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	118,600株	2022年9月期	118,600株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期1Q	8,505,720株	2022年9月期1Q	8,505,720株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、活動制限が緩和され、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られるものの、ウクライナ情勢の長期化、世界的な金融引き締めに伴う急激な為替の変動などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

人材サービス業界を取り巻く環境におきましては、厚生労働省が発表した2022年12月の有効求人倍率が1.35倍と低水準の状態に加え、総務省統計局が発表した2022年12月の完全失業率の指数は2.5%と低水準に留まる等、人材需要は回復しつつも依然として新型コロナウイルス感染症の影響が継続しております。

このような経済状況のもと、当社グループの運営する「高齢化社会型人材サービス」の環境は、内閣府の2022年版高齢社会白書によりますと、当社グループで定義しておりますアクティブシニア(55歳以上の働く意欲のある人)の労働力人口は、2021年度の推計で2,134万人(前年対比0.4%増)、総労働力人口の30.9%を占めております。アクティブシニアの労働力人口は年々増加傾向にあり、当社グループの事業領域も拡大していくことが見込まれます。

このような経営環境の中、当社は継続的な企業価値の向上を実現すべく、既存事業の継続成長及び中長期での業績向上を目的とした新たな取り組みを実施してまいりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比1,445,112千円(41.9%)増収の4,895,167千円、営業利益は、200,845千円増益の256,142千円、経常利益は、205,174千円増益の265,008千円となりました。これに法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比159,480千円の増益の182,771千円となりました。

なお、当社グループは、「高齢化社会型人材サービス」の単一セグメントであります。事業別の業績を示すと以下のとおりであります。

#### ① シニアワーク事業

シニアワーク事業は、主にコールセンター、公共機関における事務作業を行うホワイトカラー職種とビルメンテナンス、ベッドメイキング、ロジスティックスなどの身体的な作業を行うブルーカラー職種との2つの分野においてアクティブシニアの人材派遣、人材紹介及び業務請負を行っております。第1四半期連結累計期間では、新型コロナウイルス感染症の影響が継続していることもあり、シニアワーク事業内における販売費及び一般管理費を圧縮し、利益率の改善に努めました。新型コロナウイルス感染症の影響も勘案し、引き続き取扱い職種の開拓及び新たな働き方の提案が課題であると認識しており、シニア活用コンサルタントの採用育成の強化を図っております。

この結果、シニアワーク事業の売上高は1,387,839千円(前年同期比55.0%増)となりました。

#### ② シニアケア事業

シニアケア事業は、主に介護施設に対して、看護師や介護士等の有資格者の人材派遣、人材紹介及び紹介予定派遣を行っております。自社求人サイト内のコンテンツを拡充させるとともに、既存支店においては、登録スタッフ増加のための広告宣伝の強化、従業員採用の強化を図っております。

また、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の為に看護師の派遣案件を受注するなど柔軟に対応しております。

この結果、シニアケア事業の売上高は3,507,327千円(前年同期比37.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金、売掛金などが増加したことにより、前連結会計年度末と比較して490,289千円増加し、5,415,920千円となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、未払費用、未払法人税等、未払消費税等などが増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して318,157千円増加し、3,599,039千円となりました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末と比較して172,131千円増加し、1,816,880千円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の30.5%から31.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2022年11月15日に公表した通期連結業績予想より修正はございません。

なお、この数値の算定につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が2023年9月期以降の一定期間に渡り、継続する事を仮定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,228,724	2,414,532
売掛金	1,919,292	2,225,776
その他	118,563	141,735
貸倒引当金	△4,296	△4,224
流動資産合計	4,262,284	4,777,819
固定資産		
有形固定資産	319,829	312,481
無形固定資産	57,851	54,418
投資その他の資産	285,665	271,200
固定資産合計	663,346	638,100
資産合計	4,925,630	5,415,920
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,210,335	1,207,386
未払費用	1,137,164	1,355,079
未払法人税等	62,167	90,175
未払消費税等	367,057	428,937
賞与引当金	58,335	-
返金負債	189	86
その他	313,441	385,042
流動負債合計	3,148,691	3,466,707
固定負債		
資産除去債務	132,190	132,332
固定負債合計	132,190	132,332
負債合計	3,280,881	3,599,039
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	157,590	157,590
資本剰余金	137,590	137,590
利益剰余金	1,357,266	1,540,038
自己株式	△152,306	△152,306
株主資本合計	1,500,140	1,682,912
新株予約権	49,785	35,139
非支配株主持分	94,823	98,828
純資産合計	1,644,749	1,816,880
負債純資産合計	4,925,630	5,415,920

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	3,450,054	4,895,167
売上原価	2,691,316	3,822,544
売上総利益	758,738	1,072,622
販売費及び一般管理費	703,441	816,480
営業利益	55,297	256,142
営業外収益		
受取利息	2	0
助成金収入	5,104	8,433
持分法による投資利益	738	1,306
その他	169	398
営業外収益合計	6,014	10,139
営業外費用		
支払利息	1,350	1,272
その他	127	-
営業外費用合計	1,477	1,272
経常利益	59,834	265,008
特別利益		
新株予約権戻入益	-	21,302
特別利益合計	-	21,302
税金等調整前四半期純利益	59,834	286,311
法人税、住民税及び事業税	11,122	83,245
法人税等調整額	15,562	16,288
法人税等合計	26,685	99,533
四半期純利益	33,148	186,777
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,857	4,005
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,291	182,771

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	33,148	186,777
四半期包括利益	33,148	186,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,291	182,771
非支配株主に係る四半期包括利益	9,857	4,005



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う会計上の見積りについて、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

当社は、高齢化社会型人材サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	シニアワーク事業	シニアケア事業	計
顧客との契約から生じる収益	1,387,839	3,507,327	4,895,167